

平成 20 年度 第 2 回健康づくり審議会議事録

- 1 開催日時
平成 21 年度 3 月 25 日（水） 午後 2 時～午後 4 時
- 2 開催場所
保健センター 2 階 研修室
- 3 出席者
(1) 委員
岡本和士委員（会長）、中島貞利委員、鈴木泰男委員、金森恭子委員、
大島明子委員、小塚美幸委員、稲葉直子委員、鈴木まき委員
欠席：堀部郁子委員、
(2) 事務局
田中保健センター所長、牧
- 4 議題
(1) あいさつ
(2) 議題
 - 1) 健康づくりアンケート結果について
 - 2) とよやま健康づくり 21 計画中間評価について
数値目標の見直しについて
 - 3) 平成 21 年度保健事業について
 - 4) その他
- 5 会議資料
 - ・ 「とよやま健康づくり 21 計画」 アンケート結果
 - ・ 「とよやま健康づくり 21 計画」 健康づくりのための行動目標と数値
目標 中間評価
 - ・ 平成 21 年度保健事業
- 6 議事内容（要点筆記）

司会（田中所長）

それでは、ただ今から、第 2 回健康づくり審議会を開会いたします。
私は、本日の審議会の司会進行を務めさせていただきます保健センター
所長の田中と申します。宜しくお願いいたします。

開会にあたりまして、会長から一言ご挨拶をいただきます。

会長

お忙しい中、ご苦勞様です。今回は健康づくり計画の最終チェックを
したいと思いますので、活発な論議をよろしく願います。

司会

ありがとうございました。議題に入る前に、審議会等の議事録についてお話をさせていただきます。

町では、情報公開の一環として、昨年10月から町民の皆様は委員として参加していただく審議会や委員会等の議事録を町のホームページに掲載することになりました。本会もその対象になり、どのような論議がされたか要旨を抜粋して、議事録をホームページに掲載させていただくことにご承認いただけますでしょうか。

～「異議なし」の声あり～

ありがとうございました。また、議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。後ほど、会長から議事録署名委員が指名されますので、指名されました委員2名の方と会長の3名の方でご確認していただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

お待たせいたしました。それでは、これより議題の審議に入ります。会議の進行につきましては、会長の取り回しでお願いします。

会長

それではただ今から、議事の進行をさせていただきます。まず、会議録署名委員の指名ですが、鈴木泰男委員と鈴木まき委員を指名いたします。後日、事務局が本日の会議録に署名をいただきに伺いますので、よろしくお願ひします。

それでは、次第に沿いまして、まず、議題(1)の健康づくりアンケート結果の説明、質疑応答と進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。それでは事務局より説明をお願いします。

事務局

(1)健康づくりアンケート結果について説明

会長

事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明について、委員の皆様よりご質問がありましたらお願いします。

委員

中学校の取り組みで心と体の講演をして頂き、たばこ・薬物の怖さを教えてもらい、とてもよかったと思う。中学校では心の問題など取り扱ってくれて、親としても助かる。

事務局

中学校では「からだ・こころ・いのちの学習」として総合的な学習を行っている。平成20年度の内容は、一年生に喫煙防止教育、

二年生に薬物乱用防止教育、三年生に生と性に関する教育を行っており、全学年で教育講演会も実施している。実施後のアンケートの結果もよいので、今後浸透していくとよいと感じている。

委員

子どもの寝る時間が遅くなっており、どのようにしていったらよいのか親も悩んでいる。子どもと接することも難しくなっている。

委員

テレビ・ゲームで遊ぶ子が増えている。体を動かすことができるような機会があるとよい。外で遊びたいという気持ちがあっても場所を提供できない、と思うこともある。

委員

中学校のアンケートで薬物の乱用について、個人の自由と答えている人がいたことが、恐いと感じた。家庭内の分煙についてはなかなか難しい。たばこを吸っている人にとっては、禁煙は難しく、大人に対しての教育も大切ではないか。実際禁煙外来を実施していて、本当にやめたいと思っている意思の強い人は禁煙できるが、もうやめようかなと思っているぐらいではやめられない。

委員

前回の結果は衝撃的だったが、今回の結果をみると少しずつ改善してきており、流れが変わってきていることが読み取れる。ここ数年子どもの生活環境も変わってきており携帯、メールを使うことも増えているので、そのような所もアンケートで調査していくことが必要になるのでは。また、子どもの遊びの質も変わってきているので、そのようなことが反映できるアンケートにしていくとよい。

委員

計画を立てた当初、豊山町が重点においていた所はどこですか。

事務局

栄養面とたばこ、子育てを中心に、特にたばこについては近隣の市町よりも親の喫煙率が高く、分煙率が低いということがありました。休養については、ストレスを感じている人が多いという結果がありました。子育てについては、負担を感じている母親が多く、子どもが大きくなるにつれても、子育てに自信がないと感じている親が多かったので、親子の関係がおだやかになるような支援を政策としていきたい。

委員

今回の中間評価で今豊山町がどこにターゲットを置いているのか、次につながるようにしてもらいたい。近隣の市町の会議においてもたばこに比重を置いている所が多く、引き続きお願いしたい。

委員

現在ダンス教室に今年中学生になる子どもが7人参加しており、中学生になる気持ちを聞いてみると、中学生になりたくないという子どもが多かった。理由は、上下関係や誘惑されやすいなど不安がある様だった。また、遊びについてもゲームや家でゴロゴロしている子どももあり、子どもにどのように対応していけばよいのか、不安に思う。

委員

小中学校生徒のアンケートで、「家族とよく話す」においては、中学生は2ポイント上がっていたが、小学生は3～4ポイント下がっていた。「家族以外と話をする機会がある」においては少し上がっていた。問題ではないような差ではあるが、親には言えず、携帯電話などで友達に相談しているのではないか。

学校は楽しいかについては、楽しいと答えた生徒が83.8%、学校に行きたくないと答えた生徒が54.4%だった。この部分については、どういう時に楽しいと思うのか、学校に行きたくないと思うのか、背景がわかってくるとよい。この背景がわかってくると何か問題となっていることも理解できるのではないか。

子どもと保護者の比較表においては、保護者は過小あるいは過大評価している。「頼まれるといやと言にくい性格ですか」においては、小学6年生では子どもと保護者で10ポイント差があった。子どもの性格の理解について差があり、思春期に親子のずれが出てくるところではないか。

悩みを相談する人については、母親が一番多く、友達が2番目に入っていた。どれだけのレベルで家族と話せているのか、男女の結果の違いなど、違った角度から評価していくとよいのではないか。

事務局

先ほど子どもの携帯電話・ゲームでの発言があったが、学校保健委員会において中学校でグループ討議があり、帰ってから寝るまでメールをしていて、寝る時間が遅くなるが、断れないという話があった。先生たちもどのようにしていったらよいのか、来年度の課題となった。学校において親子での講演会も実施しているが、参加率が少なく、どのようにしたら参加して頂けるか苦慮していました。

会長

次に議題（２）とよやま健康づくり２１計画中間評価について事務局よりお願いします。

事務局

（２）とよやま健康づくり２１計画中間評価について説明

会長

中間評価について、ご意見をよろしくおねがいします。

高齢者の方が比較的安定しており、よくなってきているのではないかと。ギャップを感じた所は、最近一か月間にストレスを感じた成人の割合が72.8%だが、健康と感じている成人の割合が84.4%と高く、そこをどのように解釈すればよいか。

委員

家庭内の分煙については、違う部屋で吸っているということなのか。

事務局

今回のアンケートでは外や人がいないところで吸うということでアンケートをとった。

委員

小学校では食育で、栄養士さんから朝食の大切さについて子どもだけでなく親も聞く機会がある。子どもの頃からバランスのとれた食事を意識できるのは大切なこと。指導してもらえてうれしい。

事務局

食育を指導できる栄養士が給食センターに配置され、各小中学校へ指導することになった。まず豊山小学校をモデル的に実施しており、教育したところはアンケート結果もよく改善している。また、地区ごとに指導内容を変えていく必要があるという話があった。

委員

ふれあい給食で栄養士さんから説明をして頂くことがあり、小学校では月一回食育のアンケートをとっている。アンケートのおかげで子どもが朝食に野菜をとることを意識的にするようになった。

委員

妊婦さんの飲酒については、習慣性飲酒のことですか。

事務局

3歳から6歳の母親へのアンケートで、妊娠中に飲酒したことがあるか、ということでアンケートをとりました。保健センターでの調査では、習慣性飲酒の方は少ないです。

委員

妊娠中の習慣性飲酒については、胎児に対して悪影響があると言われている。

委員

2回以上歯磨きをするについては、現在歯磨きしすぎという問題もある。口の健康志向で、歯は白くなければ駄目という世間の流れもあり、一生懸命歯磨きをする人が増えている。ブームがあると結果がよくなる。

委員

子どもも大人も心の健康づくりが大切だと思う。保健所は心の健康面でサポートしている。究極は学校教育、家庭教育から始まると思うが、母親が疲弊していると、子どもに当たってしまうので、母親が日々健康でないといけない。そのような所を取り上げてほしい。

健康づくりについてウォーキングのような取り組みはあるのですか。

事務局

来年度よりボランティアさんを募って、健康の道ということで、ウォーキングコースを決めていく予定にしている。神明公園を出発点として、安全な道を歩いていただき、皆さんの健康が向上するとよいと思う。また、県の健康づくりリーダーの方が、子どもから大人まで健康体操を行っており、若々しく健康でいられるということで貢献してもらっている。今後も続けて実施してほしい。

委員

歯磨きを4回ぐらいしていたこともあるが、食べた後磨くということでのよいのか。

委員

それぞれの歯科医によって考え方が違うが、高齢者は食べたらずぐ磨くということでのよいが、健康な人はしゃべったり、運動したりすることで口の中がきれいになる。そのため、毎回歯磨きする必要はなく、朝晩丁寧に歯磨きすればよい。磨きすぎの弊害もあり、汚れをとる以上の歯磨きは粘膜を傷つけることもある。歯磨きは2回ぐらいで丁寧に歯磨きすることが基本ではないか。

会長

ストレスがある人が増えているが、働いている人も入っているか。

事務局

入っています。

会長

ストレスについて社会保険と国民健康保険の方では、どのような違いがあるか調査はしているか。

事務局

調査はしていません。

会長

現在産業医をしているが、メンタルについては産業医や産業スタッフだけでは追いつけない。できれば、地域の人にもフォローしてほしい。そうすることで、ストレスについては減ってくるのではないか。

事務局

先ほど先生より歯磨きについては、2回という話がありましたが、2回でよろしいでしょうか。

委員

2回でよいと思います。

事務局

アルコールについては、平成15年度の調査では適正な飲酒についてアルコールの量が12g未満だったが、健康づくり21計画では20gになっており、どちらの値で考えていけばよいのか、アルコールの量について検討をお願いします。

会長

一般的な基準は20gなので、適正な飲酒量はアルコールの量20gで数字を変えていただきたい。

事務局

適正な飲酒についてアルコールの量20gということで、数字を変えさせていただきます。

会長

それでは、(3)平成21年度保健事業について事務局よりお願いします。

事務局

(3)平成21年度保健事業について説明

会長

事務局から説明が終わりました。ご意見はありますか。
妊婦健診のHIV抗体検査についてはインフォームドコンセントをとって実施するのですか。

事務局

厚生労働省から妊娠中の望ましい検査項目において、妊婦の同意を

得てH I V抗体検査を行うことになっており、受診票に記載があります。

委員

同意書があるのですか。

事務局

妊婦の受診票に検査実施時に説明の上、同意を得てくださいと記載されています。

妊婦の追加検査項目について全部実施しているところは、現在は豊山町のみなので、安心して子どもを産んでいただけていると思います。

委員

検査項目を全部実施すると金額が高いので、妊婦さんにとっては助かるのではないかと。

事務局

子ども医療についても平成21年度4月から、中学3年生まで無料になります。

会長

では、(4)その他に移ります。事務局の方で何かありますか。

事務局

特にありません。

会長

本日予定をしておりました審議会の議題につきましては、全て終了しました。長時間にあたりまして、ご議論ありがとうございました。これをもちまして、第2回健康づくり審議会を閉会させていただきます。お疲れ様でした。

議事録の署名

平成21年4月8日

岡 本 和 士

鈴 木 泰 男

鈴 木 ま き